校訓	真 善 美	平成28年度学校だより 「荒中だより」 第10号	発行日	平成28年6月8日
教育目標	自主、自立、感謝の精神を抱き、 未来を拓く生徒の育成 -豊かな心、確かな学力、健やかな体を育てる-		発行者	伊丹市立荒牧中学校 校長　難波 重之

守り広げるもの

先月５月２６日（木）、２７日（金）、三重県で伊勢志摩サミットが行われ、Ｇ７（フランス、イギリス、ドイツ、イタリア、アメリカ、カナダ、日本）の首脳によって、世界の経済や平和、安全等について話し合われました。そのサミットに参加していたオバマ大統領が、安倍総理とともに、２７日（金）夕方、広島平和祈念公園を訪れました。**オバマ大統領は、アメリカ歴代現職大統領として初めて被爆地広島の地を踏みました。**静かに語りかけるオバマ大統領のスピーチは、聴く人の心に染みいるものだったと思います。スピーチの最後は、以下のように結ばれました。

The world was forever changed here, but today the children of this city will go through their day in peace.　What a precious thing that is.　It is worth protecting and then extending to every child.

That is a future we can choose, a future in which Hiroshima and Nagasaki are known not as the dawn of atomic warfare, but as the start of our own moral awakening.

世界はここで永遠に変わってしまったが、今日、この都市の子ども達は平和の中で日々を生きていくだろう。なんと貴重なことだろうか。そのことは守る価値があり、そして全ての子ども達に広げる価値がある。

それは私たちが選ぶことができる未来だ。その未来では、広島と長崎は核戦争の夜明けとしてではなく、道徳的な目覚めの始まりとして知られるだろう。

３年生の修学旅行は、熊本地震の影響で８月３１日（水）からに延期されました。修学旅行で訪れる長崎は、広島とともに原子爆弾が落とされた被爆地です。３年生

は、今年の２月に、長崎で被爆を体験された鹿島孝治（かしまたかはる）さんのお話を聴く機会がありました。爆発の瞬間や避難所となった小学校の様子など実体験に基づく鹿島さんのお話は、たいへん説得力があり被爆の恐ろしさや悲惨さが伝わってきました。

修学旅行までにしっかりと事前学習を行い、本番は自分の目で見て多くのことを感じてきてほしいと思います。

【教育実習が始まりました!!】

今日６月８日（水）から、教育実習が始まりました。今年は本校卒業生７名が実習生として、３週間にわたって教員になるための実習を行います。

教育実習では、教科指導をはじめとして、学級経営、道徳教育、生徒指導、部活動指導など教員として必要な指導内容や、教育公務員としての服務規律などを幅広く学びます。さらに、日々生徒達と授業や行事などを通して体当たりで関わることにより、多くのことを学び、将来につながるものとして欲しいと思います。

実習生	在学大学	担当教科	指導教官（学年・組）
山﨑　大樹（やまさき　だいき）	甲南大学	国語	横尾（1年3組）
平野　慎也（ひらの　しんや）	甲南大学	国語	兼山・船引（3年3組）
大江　徹（おおえ　とおる）	近畿大学	社会	三木・村上（2年2組）
上垣　俊（うえがき　しゅん）	龍谷大学	社会	岡久（3年1組）
桂木　飛雄馬（かつらぎ　ひゅうま）	佛教大学	数学	谷本（1年6組）
蔵本　奈津季（くらもと　なつき）	宝塚医療大学	保健体育	仲野（2年1組）
本村　梓（もとむら　あずさ）	関西学院大学	英語	相馬（2年7組）

全中出場決定!!

６月４日・５日に行われた第 27 回兵庫県中学生陸上競技混成競技選手権大会において、女子四種競技（100ﾊｰﾄﾞﾙ、走高跳、砲丸投、200m 走）に出場した烏山ひかるさんが、全国大会参加標準記録を突破し、８月に長野県で開催される全国中学校体育大会への出場を決めました。おめでとうございます。

自信と誇りを持てる学校を創ろう!!